

SDGsの推進について

本市は、「SDGs未来安心都市・明石 ～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～」を掲げ、誰もが安心して暮らし続けられるまち、互いに支え合うまちづくりを目指し、SDGsの理念である誰ひとりとり残さない、持続可能なパートナーシップによるまちづくりの取組を進めています。

ついでに、この度、本市の SDGsを踏まえた取組が評価され、SDGs の達成に向けた優れた自治体として、国から県内初となる「SDGs未来都市」に選定(2020年7月17日付)されました。

今後、SDGs未来都市選定を契機として、さらなる SDGsの推進を図っていく考えです。

1 SDGs未来都市の概要

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現する可能性が高い都市・地域として、国(内閣府)が選定するものです。



2 SDGs未来都市選定のポイント

2030年のあるべき姿

～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～

【社会】孤立の解消に向けた取組が評価されました。

- ・おむつ宅配事業
- ・こども食堂の設置
- ・認知症対策

【環境】ごみ削減に向けた取組が評価されました。

- ・全国豊かな海づくり大会を契機とする取組 (漂流、漂着ごみ等の削減)
- ・気候非常事態宣言(県内初)

【経済】中小企業の活性化に向けた取組が評価されました。

- ・事業承継ネットワークの創設
- ・企業の創業支援



3 SDGs未来都市選定の周知・啓発

- (1) 広報あかし(8/1号)
- (2) ポスター(全小中高を含む 約 210ヶ所、約 380 枚)
- (3) カラーホイール(明石駅前広場)
- (4) シェルターフラッグ(//)
- (5) 横断幕(天文科学館、市役所)
- (6) うちわ(17ヶ所、2500 枚)



4 教育現場におけるSDGsの取組

(1) 教科書等での学習

① わたしたちの明石

小学3・4年生の副読本の中に、本市の住みたい・住み続けたいと思える選ばれるまちを目指し、「こどもを核としたまちづくり」や「誰にでもやさしいまちづくり」の取組と、SDGsについて紹介しています。



② 新しい社会6(政治・国際編)

小学6年生の社会の教科書において、環境問題の取組を視点に、持続可能な社会をめざすためには、豊かな生活と環境のバランスを考えながら国際社会が協力していくことの重要性について説明し、その中でSDGsの考え方を学び、自分たちに出来る事が無いかを話し合う機会としています。



(2) 中学生自らの主体的な取組事例

① 取組校: 錦城中学校生徒会

② 内 容: リサイクルで錦城校区パートナーシップを達成しよう!

③ 概 要: リサイクル活動を、幼小中、コミセン、こども会、企業と連携して実施。

④ 回収品目: アルミ缶、スチール缶、牛乳パック、ペットボトルキャップ

⑤ 回収日: 1ヶ月1回(連続した3日間)、8:00~8:10

⑥ 流 れ: 市の環境部局からの再生資源回収助成金を活用し、生徒が回収した資源ごみを民間会社で再生利用等を図る。

ペットボトルキャップについては、1150 個につきポリオワクチン1人分購入。



5 教育現場での今後の取組

今後、SDGsを推進していく上で、将来を担う子ども達が、教育を通じて SDGsを「我がこととして」しっかり理解し、行動していくことが重要であることから、教育委員会・学校現場との一層の連携を図っていく考えです。

